

# コイノニア

座談会

全生活・全生涯  
をもって証する

A close-up photograph of a pink flower petal covered in clear water droplets, with some green buds and brown dried leaves visible in the background. The lighting is soft, highlighting the texture of the petals and the clarity of the water.

21号

KGK  
ISHIZUE On

連載 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>

「学生世界のリアル」  
学生を信頼し、委ねていくこと 島田みくに

「仕事の神学」  
ウェディングプランナー 根田ルツ子

主事コラム  
あの主事からのてがみ 田中秀亮

卒業生会・コイノニア年間テーマ

KGK礎の言葉を見つめ直す

# 座談会

## ～全生活・全生涯をもって証する～

2022年度コイノニアのテーマは「KGGK礎のことばを見つめ直す」。第4回、最終回となる今回は、コイノニア編集委員会にて、「礎のことば」の「全生活・全生涯をもって証する」を座談会形式で語ります。

座談会  
参加メンバー

関山宜孝



桑島大志



塚本良樹(主事)



小谷枝薫



林直也



words of foundation

●「礎のことば」に込めた想い

関山… 「礎のことば」では、「学生主体」をこの「全生活を通しての証」の中に位置づけているのが特徴的です。

桑島… なぜ「礎のことば」で「全生活・全生涯をもって証する」を最後に位置づけたんですか？

塚本… 「全生活を通しての証」はKGGKを体現してきたのは、伝道することだけでなく、仕事も家庭もすべての領域で、神様を証するということ。これを実践するクリスチャンを育てる、KGGKの本質の目的を示す言葉として、最後に配置したと聞いています。

関山… 元々の「全生活を通しての証」のスピリットに、あえて「全生涯」を込めた理由は？

塚本… KGGKは生涯運動。学生時代だけでなく生涯に渡って、全生活を通して証することを言語化して強調するため。卒業生会の意義もそこにあると思います。

●「全生活・全生涯をもって証する」のイメージ

小谷… このことばは、KGGKで元からあった概念です。KGGK卒業生の間では当然のように共有されているもの。

関山… 「全生活を通しての証」自体は、ストイックな言葉ではある。自分の中では、軽くとらえられない言葉と。

林… 本来、信仰＝全生活における主への信頼であり、全生活の証、であるはずなのになぜか我々は、「信仰はあるけれど全生活で証というモードにはなれない」のように、別物として考えることがある。

小谷… 全生活を通して証する信仰こそが本物の信仰だと思う。でも、自分の現状はそうじゃないと思ってる人がそれを聞いたときに、理想が高くて苦しくなる感覚を覚えるかも知れないよね。

塚本… 「うわあ厳しい」って思う人と、「全生活を通してでいいんだ」って安心する人と、両方いるなって思う。

関山… 安心する人もいるというのは？

塚本… ストイックではあるけど、自分で頑張ってるやると言うよりも、福音を知ることや心を躍らされて、神様にそうされていく。もちろん言葉による伝道もやるんだけど、こうしないといけないというTODORISTではなく、もっと押し出されてのびのびと自由に生きていく。弱さも含めて、「すべて」が神様に用いられていくのだ、という安心をもって全力を尽くす。なので、この言葉を聞くときに思い起こすのは、喜びとか自由、安心なんですよ。

林… かつて欲のままに生き、主に従うことを退屈で堅苦しいと考えていた生まれつきの状態から本当に御霊によって新しく生まれさせられたなら、罪人として生まれた自分の欲を満たすよりも、偉大で愛すべき神様に仕えることの方が喜びがあるはず。そして、その愛する神様の栄光がさげすまれないように生きることが喜びであるなら、自然とその命令に対して喜んでストイックに従っていく、そういうつながりかと思えます。

塚本… もちろんしなきゃいけないことはあるけれど、それを超えた安心がある、というイメージ。

桑島… 私たちのすべてが証、宣教であるというの、すべてに神様が関心を持ってくださっていることだと思ふ。仕事も家庭も趣味も…。時に苦勞したり、へこんでる自分がいて

も、そこには神の眼差しの下に生きる安心感と、全てが神様のお役に立てるという安心感がある。「全生活」という言葉には少し自由にされたと思っています。

### ● 社会人として考える「全生活を通しての証」

関山… みんなは、今考える「全生活を通しての証」って学生時代と変わった？

桑島… 高校生時代までは、伝道してなんぼの世界観で生きてました。クリスチャンになった理由は、死んだ後天国に行くため！みたいな。学生時代、KGGKを通して聖書の世界観を知って、さらに、KGGKが考えてきた世界管理、神の御国の建設の概念が身になったのは働き始めてから、かな。

小谷… 私の場合は、学生時代は「全生活を通しての証」をはき違えて、自分に与えられた時間や能力をちゃんと考えずに、全てに全力になるあまり、から回っていたと思う。動ける時間、体力の限界を超えて全部予定詰めちゃう、みたいな。大人になって、何が神様に喜ばれる生き方か考えたときに、無理しない範囲での等身大の全生活を通して証しするってどういうことだろうって改めて学びつつある気がする。

桑島… 体も、神様から来たもの、神様にお返しするものと考えると、無理しないというのはそうだなって思う。

塚本… ホーリスティックな福音理解、つまり、福音を全体的・包括的に捉えることが大切。体も、伝道も、仕事も、結婚生活も、政治も、すべて。ついついバランスを失いがちだけど、全生活を通してという言葉によって自覚的であることができる。

関山… 自分にとっては、学生時代に比べてもっと複雑に難しくなった。仕事をひとつとつても、どこまで顧客に寄り添うか、どこで線を引くのか。どこまで責任を引き受けるか。競争の激しい環境で、同僚とどう向き合うか、どう誠実であるか。無限の自由

度がある。自分の場合は、あまり「全生活を通しての証」がうまくいってる感はないかな。

塚本… 特に仕事では、答えがないものがたくさんあると思う。どっちが正解だったか、後になってもずっとわからないこともたくさんある。でも、主にあつて労苦が無駄にならないと信じている。神様は悪いことですらよいことに変えられる方。失敗や過ちも良いものに用いてくださることを信じて、もがきながら葛藤しながら、何かを決断して選び取っていく、というプロセスが結果的に証しになるのだと思う。もっと深いクリスチャンの生き方がにじみでていくのではないかと。

桑島… 正解、答えがないというのは共感します。すべての事柄について、神様が明確な答えをくださるわけじゃない。問われているのは、目の前の人と事柄に対していかに誠実であるかだと思う。それはその人、事柄すべてが神のものであつて、神にお返しするものだから。その信仰をもって誠実を尽くす一歩が、御心を天になるごとく地に成す一歩になると信じています。

林… ローマ12:2には、我々は成熟していく過程で何が神様の喜ばれる選択であるかを見分けることができるようになるということが書かれている。難しい場面、正解が複数ある場面も多々ありますが、悩むことそのものをゴールとしたらそこに満足したりするのでなく、そこでどのように神様の喜ばれることを見分け実践していくのか。巧妙な惑わしや偽りも満ちている中で、みこころを選択していくための知恵、賢さを身につけていきたいと思えます。



卒業生が  
学びと交わりを  
継続する意義

卒業生会では、新たに学び会の開催を企画しています（聖研を検討中です）。ここでは、学びをする意義を、K G K卒業生にとって重要なテーマである「献金」という例から考えていこうと思います。

私たちがする献金のあるべき姿は、それが主に喜ばれる捧げ方であるということです。そして、それを考えるにあたり、最もよく言われ、また重要なことは、「主が見られるのは、捧げる額ではなく、その心である」という点です。

少額では主に喜ばれないとは限りません。もちろん、もし自分の趣味のために浪費した結果として少額の捧げ物になるなら、それは主に喜ばれないでしょう。しかし、もし家族を助け励ますことや、将来のための計画的貯蓄、また教会の兄弟の具体的な必要を満たすことや、より主の偉大さを知るための聖書の学びに財産を使い、その結果としての少額であれば、それは主に喜ばれるでしょう。

一方、大きな額を捧げていても、もしそれが、単に「どんな働きか正直分かっていないけれど、付き合いの長い友人がやっている働きだから」「アピールを受けたいからとりあえず」という理由で、捧げる対象である働きの目的や重要性もよく知らずに捧げているのであれば、それは大きな額であっても、主に喜ばれるものとはならないかもしれません。そういう



20年東京芸術大卒  
林直也

意味で踏み込んで言えば、私たちが願うことは、「たくさんの方々がこの働きのために捧げてくださること」以上に「一人の捧げる内容が、主の喜ばれるものとなること」なのです。

そして、関東地区K G K卒業生会はこの願いを達成するために、卒業生のための学び会を開きます。その理由は2つあります。1つ目は、主に喜ばれるような支援をすることには、いま見てきたような自分の財産全体の使い方、生活のあり方など、全生活が関わることであるからです。主に喜ばれる生き方を学ぶことで、そこから主に喜ばれる生活の仕方、お金の使い方、そして支援を求めていければと思います。

2つ目の理由は、捧げてくださる方が、少額であれ大きな額であれ、K G Kがいまのような働きをしているかを実際に見て知っていたらいいので、支援をしていただきたいからです。そして、同じように主に喜ばれる支援のあり方を求める兄弟姉妹と共にそこで学び、交わり、K G Kの働きの重要性を知っていたらいいので捧げていただければ、私達も誠実に学び会の準備を進めていこうと思います。

学び会の詳細については後日周知いたします。ぜひぜひお越しください！

関東地区  
卒業生会総会に  
参加しませんか？

学生時代、地区総会には私にとって手に汗握る一大イベントでした。委員会ごとに感謝の報告があり、祈りの中で準備してきた活動方針が分かち合われ、予算を通してビジョンが具体化される。そして、それぞれの学内に遣わされている戦友達との久々の再会。祈りの交わり。この交わりの中で主の働きを進めていくのだと、心ひとつに一步踏み出す。そんな緊張感と期待が入り混じった懐かしい記憶があります。

卒業生会は学生時代ほど活動の規模は大きく無く、総会の出席人数も少ないかもしれませんが、その本質は学生時代と変わりません。

- 1 卒業生会全体（各イベント、同期会、職域別祈祷会、コインニア等）の活動報告
- 2 新年度の活動方針の分かち合い
- 3 貴重な生の声を聞ける学生会・主事会報告

総会では主に上記3項目の時間が持たれます。主への感謝をささげ、祈りの必要を知り、卒業生会における交わりや支援のあり方につ



関東地区卒業生会会長  
13年千葉大卒  
小野恵太

いても考える機会となるでしょう。特に学生会・主事会報告をとおして、私達卒業生の祈りと献金が最前線でのように用いられているのか聞けることは大きな恵みです。

また、交わりの豊かさは卒業生会ならでもと言えます。全国から参加者が集まる11月の職域別祈祷会。各年代で開かれている同期会（昨年は92同期会も活動報告をしてくださいました）。さらには、昨年からは関東地区の主事が原則全員総会に出席することになりました。1卒業生の代表である主事達と、K G Kが生涯運動である認識を改めて共有できることでしょうか。幅広い年代が一堂に会して、様々な交わりの全容を一度に知り、主の前に一致して歩み出す機会には総会以外にあり得ません。

多忙を極める卒業生の皆様にとって、この総会そのものが交わりの機会として用いられることを願っています。交わりによって励まされ、新たな1年も学生のために祈り、主事を送り出していくのだと心ひとつに一步踏み出す。これこそ惜しみなくささげ合う関係、コインニアの中心の姿ではないでしょうか。Zoomでの参加もできますので、ぜひお気軽にご参加ください。

概要

日時

2023年

3月18日

Saturday

10時～12時

会場

OCCビル3階

KGK集会室

改装工事後の拡大集会室を見ることが出来るチャンス!

申込フォーム



<https://bit.ly/3vLJ8T1>

## 御茶ノ水に卒業生の拠点が 与えられている意味

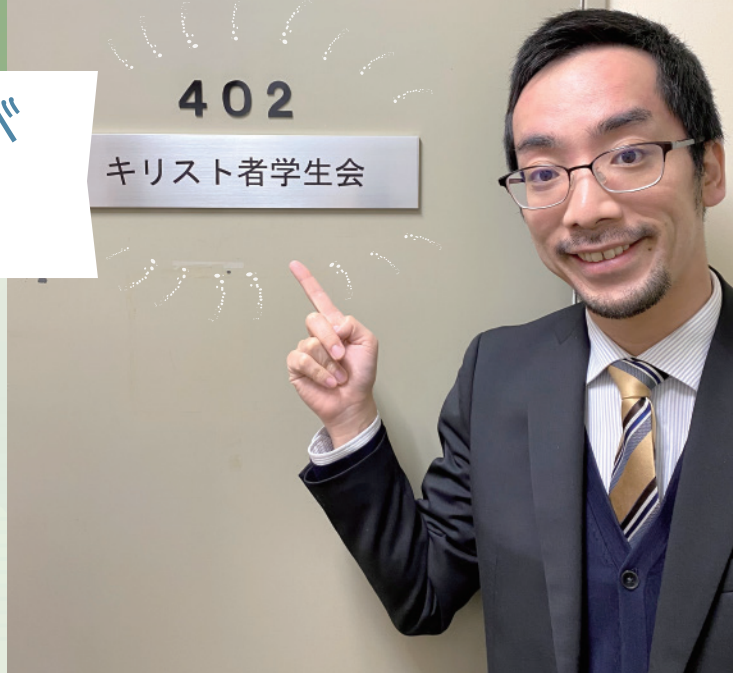
2022年11月、KGKの歴史のなかで大変意義深いことが起きました。KGKが全国事務所を置いている御茶ノ水のOCCビルの、4階の一区画を購入したことです。これまでは同ビル3階のみを事務所として使用していたため、KGKのフロアが拡張した形です。

OCCビルは、かつてお茶の水学生キリスト教会館（OSCC）と呼ばれていました。元来の土地と建物は、学生宣教のために、海外のIFESのムーブメントの支援もあって購入されています。詳しい経緯は記念誌に書かれているので割愛しますが、そのような歴史をもつビルにあって、KGKが所有する区画を増やせたことには、大きな意味があると考えています。

さらには、この購入により、4階に事務所機能を移転し、3階の集会室を広くすることができました。これまでの集会室は、ギョウギョウに詰めて50名、コロナ禍においては10-15名程度しか収容できず、パーティーで区切って会議を行うにも3組がやっとでしたが、およそ2倍、100平米を超える広さに拡張することで、より多くの学生がこの場所で交わりをもつことができますようになります。オンライン配信設備も充実させる予定で、オンライン・ハイブリッド企画も実施しやすくなります。

402

キリスト者学生会



近隣に大学が多くあり、アクセスの良い御茶ノ水駅のすぐ近くに、広く、設備の充実した拠点が与えられていること。これは、学生たちだけでなく、忙しい卒業生たちにとっても大切なことです。改めてコロナ禍でのオンラインイベントを経験して教えられたことは、特に大きな環境の変化のなかを歩む若手卒業生たちにとって、「対面」の交わりは必要不可欠であるということです。もちろん、忙しい卒業生たちにとっては、オンラインでの学びと交わりの機会も重要です。これからも、御茶ノ水の地が、学生たち、そして卒業生たちの交わりの拠点として、用いられることを祈っています。

### 牧 岳 司

○最近、相手に言えてなかった一言は？  
この22年間、共に歩んできてくれてありがとう。いつも支えてくれてありがとう。

○相手を聖書の人物に例えると？  
ハンナ。祈りの人だなと思います。

○相手と過ごした大切な「時間」は？  
近所に良いお店を見つけて、2人だけで食事をしている時。二人とも薔薇が好きなので、毎年シーズンに訪れる薔薇園を散策する時。

○今だから言える夫婦の危機は？  
娘たちも呆れる大小様々な激しい議論？はありました。でも、その中でお互いの理解が深まり、今の私たちがいるように思います。

○相手がいることで「助かっているなあ」と思うことは？  
自分の欠けている面をフォローしてくれていること。間違っている時には、はっきりと指摘してくれるところ。

○相手がいることで「助かっているなあ」と思うことは？



### 夫 牧 岳 司

教会 二宮山西キリスト教会

仕事 牧師

家族 妻と2人の娘

趣味 家庭菜園、釣り、オオクワガタのブリード、茶道

好きな食べ物 果物全般、抹茶スイーツ

### 妻 牧 睦代

教会 二宮山西キリスト教会

仕事 教会・保育園

家族 夫と娘2人  
(大学3年生と高校1年生)

趣味 ピアノ・フラワーアレンジメント・お菓子作り・散歩

好きな食べ物 コーヒーと焼き菓子・果物

### 牧 睦 代

○最近、相手に言えてなかった一言は？  
「忠実な御言葉のとりなしによって養われていることに感謝しています。」とこの場をお借りして...

○相手を聖書の人物に例えると？  
ダビデ。サムエル記の講解説教が続く、荒野や戦いと感じるような中でも神の御心に忠実に仕えようとする姿勢において。(「いいのにしたんだね。」by次女)

○相手と過ごした大切な「時間」は？  
会堂で心を合わせて祈る時。子どもの進学や試験の時々に、共に主の前にひざまずき祈った時。

○今だから言える夫婦の危機は？  
ある教会を転任した時。その決断に祈り悩む大嵐の中で主が確かなみことばと導きを与えて下さり、家庭に平和再び。

○相手がいることで「助かっているなあ」と思うことは？  
買い物と料理が苦でないこと。畑や釣り・クワガタブリードなどを通して子どもたちの視野や体験の幅を広げ深めてくれたこと。

○相手がいることで「助かっているなあ」と思うことは？

# 根田ルツ子



K. Rutsuko

聖学院大学2009年卒、中央美術学園2015年卒  
2020年よりRuth Weddingを立ち上げ  
ウェディングプランナーとして活動開始

Professional

ウェディングプランナー

Theology of Work

## 仕事の神学

わたしは神から何を任されているのか  
神の世界において何のプロフェッショナルとして召されているのか  
キリスト教の視点でわたしたちの仕事を「神学」するリレー連載

### 根田ルツ子にとって「ウェディングプランナー」とは

### 結婚するカップルと共に、神の下に立ち返り続ける働き

結婚式。それは結婚する二人が神によって結び合わされ、夫婦となる約束を交わす、人生の中でもとても特別な一日。そんな大切な日をサポートできるのはなんと幸せなのだろう。十年前に友人の結婚式で会場装飾を手伝って以来、「結婚式」というワードを聞く度にワクワクし、装飾のイメージが溢れ出さずにはいられなかった。現在は装飾に留まらず、カップルが結婚準備を始める段階から、ウェディングプランナーとしてサポートする働きを担っている。

プランナーとして、私がいつも意識していることがある。それは、「結婚式は神が備えてくださる特別な礼拝式である」ということだ。

私自身の結婚式は、コロナ禍初の緊急事態宣言中に執り行われた。感染症の流行状況が日に日に悪化していく中で、プログラムの大幅な変更を余儀なくされ、家族だけで最低限の結婚式を行

うこととなった。目の前の現実を受け止めきれず、神に怒りの祈りをし、最終的にはもうすべて捨ててやるという気持ちになっていたところで、不思議と結婚式の装飾イメージが与えられた。まるで、神に「これはあなたの結婚式ではなく私が用意した結婚式なんだけど」と言われているかのようだった。神に忠実に結婚式準備を進めているつもりだった私の握っていたものが明らかにされた時だった。神が備える結婚式には、準備する私も招かれている。そんなことを自らの結婚式で教えられたのだった。

プランナーの働きは、カップルにヒアリングをし、二人が思い描く結婚式を一緒に形にしていくことだ。そこには、準備スケジュールの管理、プログラムの検討、奉仕者のサポート、会場装飾、外部業者の手配などが含まれる。普段の生活を送りながら結婚式の準備をすることは、想像以上に難しい。短期間にたくさんの決断に

追われ、目の前のやるべきことで頭が一杯になってしまうカップルも少なくない。そんな時は、「神がこの結婚式を備えてくださっている」ということに立ち返る必要がある。握っているものがあれば手放し、ただ神に期待して最高の結婚式を待ち望むのである。

結婚式当日だけでなく、準備の段階にも神は介入し、形作ってくださっている。神が特別な礼拝式に招いてくださっていることを覚えつつ、最初から最後まで神の栄光が現れるように、結婚の備えをするカップルたちと共に歩んでいきたい。



## 『こころのよるごはん 眠れぬ夜の詩篇』

宮葉子著 著、いのちのことば社、2018年

紹介者

浜田 進

北秋津キリスト教会牧師  
元KGG主事

宮葉子先生の紡ぎ出すことは非常に感性豊かです。そのことばには、聖書のことばをより深く、大きく、美しい映像のように見せてくれる魅力があります。詩篇のことばをじっくり味わうために、宮先生のことばは良き伴走者となってくれるでしょう。

「神こそ わが岩 わが救い わがやぐら」(詩篇六二・一二)について次のように記されます。

「やぐら」という高みにある安全地帯からは、あまねく全地を見渡せます。試練の中で狭くなった人間の視野を、神は広げてゆとりを与えてくださいます」(二頁)

「摂理」についてはこう記されます。「神を愛する者には、絡まった糸は、解かれ、結び合わされ、そうして光の元へ束ねられて太一本の道に向かつていく。…たまたま起きたと考えると不条理に行き着くことが、光を帯びた新しい物語に読み替えられていく希望がそこにはあります」(五一頁)

いろいろな思い煩いに捕らわれ、眠れない夜にお勧めの一冊です。



ブックレビュー



## 関東地区主事 島田みくに

担当 小田急線ブロック・多摩☆プロコロー担当  
所属教会 JECAかまい聖書教会



3年ぶりの夏キャンプでは、学生たちと多くの時間をともにし、福音に燃やされた学生たちの姿を見た。「神様の愛に立ち返りたい」「教会に行こうと思う」「学内活動を始めたい」という声。ともに時間を過ごし、ともにみことばを聞く時に、多くの実りを見る。

しかし学校も始まり数か月たつと、その炎がくすぶり、消えかけているように感じることもある。忙しさの中で、学内活動の停滞。連絡がなかなかとれず、フェードアウトしていく学生。もっと彼らに関わらなければ、と焦る。しかし自分にも限界がある。自らの限界の中で、どう学生とともにいることができ、学生の信仰の成長を励ますことができるのだろうか。

## 学生を信頼し、委ねていくこと

学生と関われば関わるほど、時間をともにするほど、実りが多く見える気がする。学生の信仰が成長し、学内宣教が充実している気がする。事実、必要な部分も大きい。キャンプや集会で燃やされても、いざ日常に帰った時、どう信仰生活を歩めばいいのかわからないことがある。日常に寄り添い、共に歩み、励まし導くことは大切である。

しかし私たち主事にも限界がある。身体はひとつ。家庭や教会での働き、学生宣教といっても働きは多岐に渡る。ここには大きな誘惑がある。私たちは（少なくとも私は）、まるで自分の力で宣教がなされているように錯覚しがちである。自分が何もしくなくとも、主が働いておられることに何度でも立ち返りたい。時には、自分が働きすぎること、学生の成長が阻害されるということさえある。

今年始まったばかりのある学内グループは、下級生が中心で、未信者学生も数人繋がっていた。若いグループだけに、特に気にかけてケアしようとしていたが、私自身は、働きすぎで不健全な生活になっていた。自分の限界を感じた時、私は学生を信頼し委ねることをしていかなくなったことに気づかされた。聖研リーダーや日程調整さえも、学生自身の手に委ねることがなかなかできず、まるで私がないと活動が回らないように感じていた。無意識のうちに学生を自分に依存させ、自分の影響力を手放したくない、自分がいつも役立っていたいという歪んだ思いが隠れていたことに気づかされた。すべては主からの恵みであり、

主の働きであり、その主への信頼と祈りが欠けていることを教えられた。その後、リーダー学生にいくつかのことを教え、活動を委ねた結果、彼女は真剣にそのことを受け取り、なんと今は未信者の友人とともに聖研リーダーの準備をしている。そこでは続けて伝道聖研がもたれている。

手放すことは怖いこともある。気づくと活動が弱まっていたり、学生が離れていくように感じ、焦ることもある。自分は役立たずで価値がないように感じることがある。だからこそその恐れを認め、まず自らが主の愛を受け取り、主のみわざに信頼していききたい。主に信頼するからこそ、学生を信頼し、委ねていくことができる。私たちがするべきことは、自分が学生のために何ができるかということ以上に、この学生が主に自ら従うことができるように、信頼して委ねていくことであるように思う。そのためにも何が必要かを、祈りの中で主に聞き、また学生の正直な心を聞きながら、ともに考えていくことを大切にしたい。またそのために自分自身を変えられ続けていくことを求めている。



# あの主事からの てがみ

JECA八栗シオンキリスト教会  
元関東地区主事

田中秀亮



- ▶ 趣味 勉強
- ▶ 学生時代の専攻 農学
- ▶ 性格 新しい好きだがルーティンも得意
- ▶ マイブーム Netflix、シラス(放送用プラットフォーム)

田中秀亮です。元気にやっています。2006年に大学を卒業し、関東地区KGK主事として6年間働きました。現在は香川県で牧師をしています。四国に来て少子高齢化を初めて実感しています。65歳以上が教会員の半数を構成し、小学1年生の息子のクラスは11名のみで、高校を卒業すれば大半が都市部に進学します。KGKでの学生伝道から、地方都市での高齢者伝道・牧会の日々を過ごしています。

香川に来て7年目で、教会員も私も7歳の年齢を重ねました。施設に入所されたり、礼拝に来るだけでも精一杯な方々が一人二人と増えてきました。主のみもとに召された方々もいます。必然的に教会員が奉仕を担うことが少しずつ難しくなっています。

私は愛するために必要なことは何でもするという姿勢を大切にしています。牧師は祈りと説教と聖書の学びを提供すれば十分であるとは思いません。教会員と長い立ち話をしたり、一人暮らしの兄弟とお昼御飯を食べに行ったり、子どもたちと遊んだり、その人を愛するために必要なことは何でもしようと思っています。「みことば」か「ケア」かのどちらかではなく、愛するためにはどちらも大切なものだと受けとめています。

主事をしていたときのことです。主事1年目の私は全国の主事たちに会えることを楽しみにし、期待感をもって夏の全国主事会に参加しました。初日に施設の使い方についてキャンプ場の方から説明を受けました。館内の照明の消灯係が必要だと

いうことで、新主事にその役が回ってきて、私が指名されました。他にも新主事がいる中で自分だけに「雑用」を押しつけられたと思い、思わず不満をその場で言葉に出してしまいました。その夜、Y主事に呼び出されました。「説教は尊い仕事で電気を消すことは卑しい仕事だと考えているならば、この仕事を続けていけない」とこっぴどく叱られました。どんな仕事も主の前には貴賤がないことを繰り返し言われました。この時の「熱いお飯<sup>もつ</sup>」が今の私の働きの姿勢の土台にあります。

主事の働きの後、聖書宣教会で4年間学びました。言語の学びと釈義のトレーニングにひたすら励みました。なぜその言葉（ヘブル語やギリシア語）がそのように訳せるのか、この箇所は何を言いたいのか、そうしたことに朝に夕に取り組み続けた4年間でした。バランスには欠ける学びだったかもしれませんが、その徹底的な反復作業を通して、聖書を自分で読む力や他人が聖書について論じていることを批判する力が養われました。現在、毎週説教をし、聖書の学びをしていますが、4年間の「修行」が私のみことばの奉仕の土台を支えています。

7年間の働きを通して、教会員との関係は守られ、牧師としての働きの尊さをおぼえるも、いろいろと祈り求める中で、いったん牧師から退くことになりました。4月からは関東で新しい道に進みます。

キリスト者学生会 関東地区卒業生会誌

コイノニア

2023年2月  
211号

編集委員：関山宜孝、小谷枝薫、桑島大志、阿部聖香、西村信幸、吉田明理、林直也、  
道法涼子、河野言葉、塚本良樹（主事）

発行：キリスト者学生会関東地区卒業生会 東京都千代田区駿河台 2-1 OCCビル3階  
TEL/FAX：03-3294-6916/6050 郵便振替：00170-1-83649 発行部数：1600部/年4回

【編集後記】2013年からちょうど10年間担当させていただいたコイノニア編集委員会の奉仕を退くことを決めました。コイノニアの奉仕を通して、卒業生として主事を立て送り出し支え続けることの大切さを学び、その恵みを目の当たりにし続けた10年間でした。そしてKGK卒業生の皆さんの姿を通して、全生活・全生涯をもってクリスチャン社会人として生きていくことを励まされ続けた10年間でした。コイノニアを通して神様がなされた御業にただただ感謝です。今後のコイノニアにもご期待ください。新メンバーも募集中ですので、興味ある方はぜひ塚本主事までご連絡ください！（関山）